

**令和6年度進行管理・評価シート**  
**佐賀市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和4年3月22日認定）**  
 （最終変更 令和7年3月7日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施・推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 佐賀市都市計画道路網の再編	.....	2
2 景観計画の活用と景観条例の運用	.....	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 佐賀城公園整備事業	.....	4
2 重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業	.....	5
3 松原公園整備事業	.....	6
4 旧馬場家住宅保存修理事業	.....	7
5 山口亮一旧宅保存修理事業	.....	8
6 武家屋敷の門(中の小路)保存修理事業	.....	9
7 史跡「三重津海軍所跡」保存整備事業	.....	10
8 歴史的風致形成建造物保存修理事業	.....	11
9 まちづくりファンド活用事業	.....	12
10 案内・説明看板及び誘導看板整備事業	.....	13
11 三重津海軍所跡周遊ルート環境整備事業	.....	14
12 長崎街道再整備事業	.....	15
13 新馬場通り(松原神社参道)整備事業	.....	16
14 佐賀市歴史民俗館周遊ルート及び駐車場整備事業	.....	17
15 緑化推進事業	.....	18
16 幕末佐賀藩近代化産業遺産の保全及び活用事業	.....	19
17 案内・説明看板及び誘導看板データ化事業	.....	20
18 徴古館を活かしたまちづくり推進事業	.....	21
19 地域文化保存・継承支援事業	.....	22
20 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金	.....	23
21 指定文化財管理台帳等作成事業	.....	24
22 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金	.....	25
23 佐賀市文化財総合活用推進事業	.....	26
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・指定、保存管理計画の策定	.....	27
2 文化財の修理(整備)、防災に関する事業	.....	28
3 文化財に関する普及・啓発の取り組み	.....	29
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	.....	30
⑥その他(効果等)(様式1-6)	.....	31

**□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)** ..... 32

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
計画の実施・推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 当該計画の推進にあたっては、法第11条に基づく「佐賀市歴史まちづくり協議会」を中心に、事業実施に関する事項や計画変更に関する協議を行う。  
 また、重点区域を対象とした歴史的風致の維持及び向上を図るための各種事業や取り組みを庁内の関係課で調整する「佐賀市歴史まちづくり事業調整会議」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 佐賀市歴史まちづくり協議会の開催：令和6年6月27日(木)  
同協議会では、歴まち事業の進行管理に関する協議を行った。
- 佐賀市歴史まちづくり事業調整会議：開催なし
- 庁内の関係課と、事業に関する実施協議を個別に行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 第25回佐賀市歴史まちづくり協議会  
開催日：令和6年6月27日(木)  
(議題)  
・令和5年度の事業進捗、評価について  
・令和6年度事業スケジュールについて



【第25回協議会】

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
佐賀市都市計画道路網の再編		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

平成17年度に旧佐賀市の都市計画道路を、平成18年度に旧大和町の都市計画道路の見直し案の公表を行った。今回の見直しでは、多布施川などに代表される緑あふれる自然環境への影響、良好な住環境やまちなみへの影響を重要視した内容となっている。  
 廃止に向けての説明会を開催し、地元の理解を得られた路線から順次廃止の手続きを進めており、平成28年度末までに12路線12区間で廃止または計画の見直しの手続きが完了している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

江戸時代の町割を継承する佐賀城下町において、時代に沿った都市計画道路の見直しにより、町割の大きな改変が行われることがなくなり、歴史的風致の維持向上に寄与した。  
 ●令和6年度：1路線(尼寺小川線(W=13m L=1,670m))の廃止(一部区間見直し)について県と協議中。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

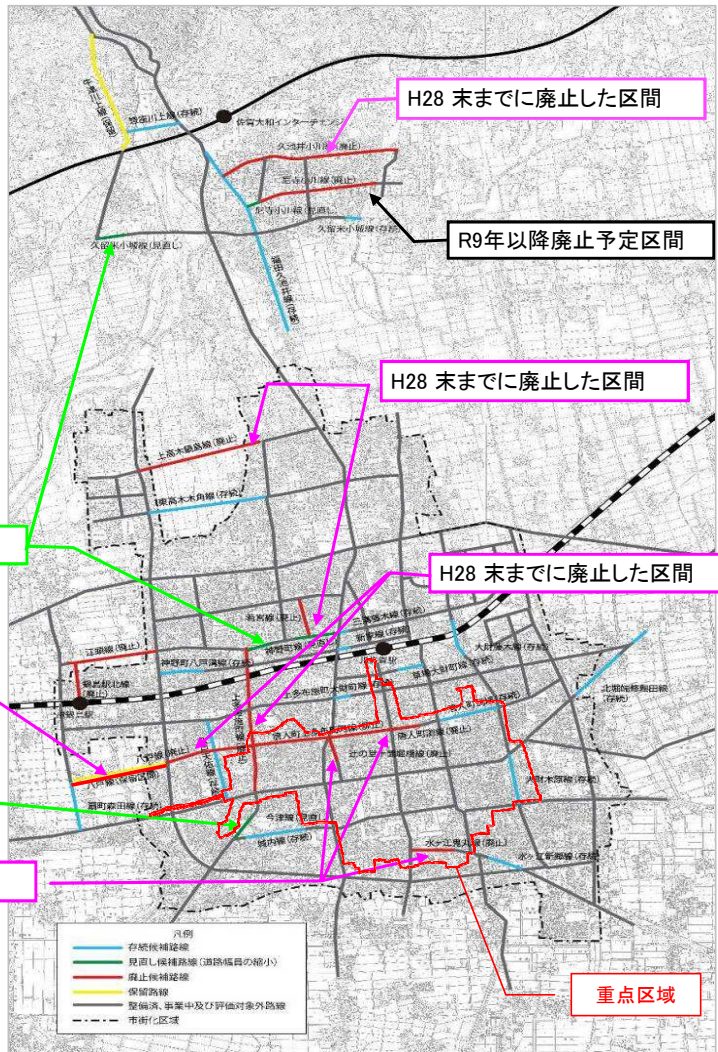
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

佐賀市都市計画道路の見直し  
(平成17、18年度)

旧佐賀市の都市計画道路  
 見直し対象路線：25路線 26区間  
 (約18.21km)  
 見直し結果：存続 14区間  
 廃止 10区間  
 見直し 2区間

旧大和町の都市計画道路  
 見直し対象路線：6路線 8区間  
 (約8.20km)  
 見直し結果：存続 2区間  
 廃止 2区間  
 見直し 3区間  
 保留 1区間



【都市計画道路網見直図】

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
景観計画の活用と景観条例の運用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 本市では、景観法に基づく佐賀市景観条例及び佐賀市景観計画を平成24年度に施行し、特に重点的に景観の誘導を図る必要があるエリアを「景観誘導エリア」と位置付けている。そのエリアの一つである「佐賀城下町周辺エリア」は、重点区域の「佐賀城下町地区」を包括した区域となっており、「景観形成地区」(長崎街道・柳町景観形成地区、城内景観形成地区)では、それぞれに景観形成方針、景観形成基準等を定め、当該地区内の良好な景観形成を図っている。  
 また、景観計画では、本市全域を景観計画区域とし、一定規模以上の建築物等の新築、増築、外観の変更を伴う修繕などを行う場合には、事前の佐賀市長への届出又は通知を義務付け、良好な景観の形成に向けた誘導を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域を包含する景観計画における「佐賀城下町周辺エリア」では、はり紙等の屋外広告物のパトロールや撤去を重点的に実施し、歴史的風致の維持向上に努めた。また、景観の重要性についての市民意識の向上を促進することを目的として、景観啓発ワークショップ(1回)、景観啓発動画の製作(3本)、景観ウォッチング(1回)を実施した。

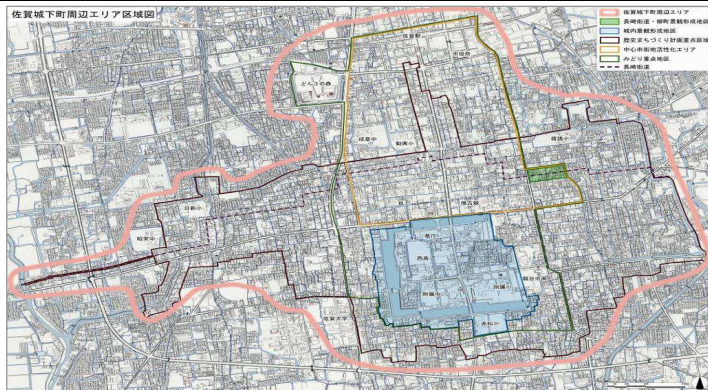
- 平成23年10月「景観条例」制定 平成24年1月「景観計画」変更 平成24年4月「景観条例」施行
- 令和6年度：
  - 景観法に基づく届出等の件数  
 市域全体:82件(景観形成地区を除く。)、長崎街道・柳町景観形成地区:1件、城内景観形成地区:19件、風致地区:1件
  - 景観啓発ワークショップ「ヨカトコさがし」の実施
    - ・与賀町、精町周辺で、気に入った場所や、課題に感じた場所を探すフィールドワーク
    - ・フィールドワークの結果をもとに話し合いながら、景観スポットなどを地図にまとめる「おしゃべりマッピング」
  - 景観啓発動画3本の製作・公開  
 前年度に制作した景観マップ「ヨカトコまっぷ」掲載のスポットを紹介する動画
  - 景観ウォッチング～中央大通りまち歩き～の実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【景観計画における「佐賀城下町周辺エリア」】

凡例		
佐賀城下町周辺エリア	長崎街道・柳町景観形成地区	城内景観形成地区
重点区域(歴史的定規づくり計画)	中心市街地活性化エリア	みどり重点区域

【景観啓発動画】  
 佐賀市公式ホームページにて、動画3本を紹介するページを公開中。  
 URL：  
<https://www.city.saga.lg.jp/main/105800.html>



写真1



写真2



写真3

【景観啓発ワークショップ「ヨカトコさがし」】実施日：令和6年12月9日(日) 参加者：17名 実施回数：1回

【景観ウォッチング～中央大通りまち歩き～】実施日：令和7年1月25日(土) 参加者：24名 実施回数：1回

(写真2) 建築士の解説を聞きながら市内中心部を歩く参加者の様子

【違反屋外広告物撤去活動の様子(写真3)】

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
佐賀城公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	昭和43年度～令和13年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園等事業)

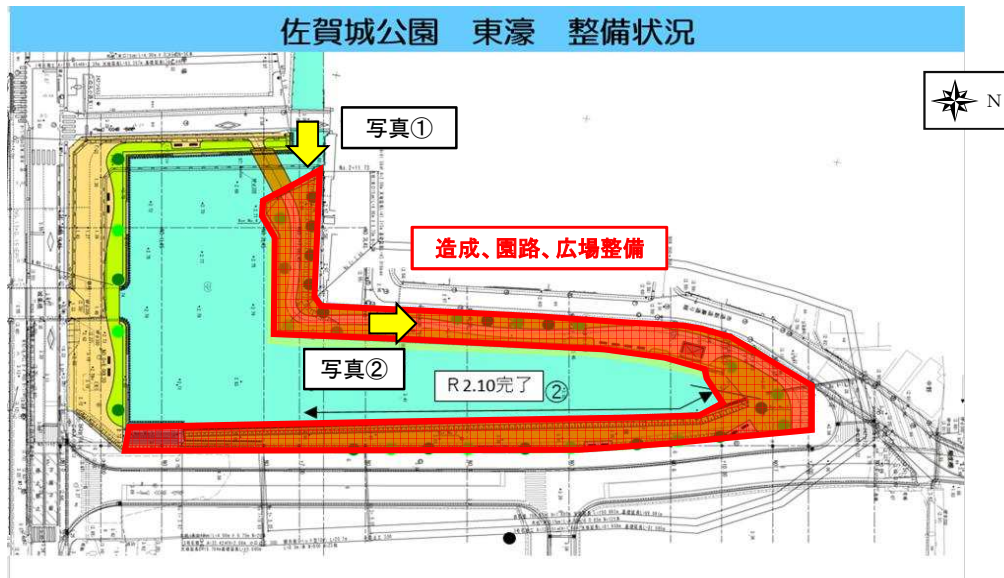
計画に記載している内容  
 第二期工事として、昭和43年から公園計画区域を随時拡大しながら整備を続けてきている。現在、「歴史の森」地区として位置付けた佐賀城の本丸及び二の丸周辺の重点的な整備を進めており、「佐賀城下再生百年構想」に基づき、昭和13年・14年度に埋められた東堀の一部復元工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●令和6年度：用地費において、公園区域内のNHK佐賀放送局の用地補償及び解体工事(上部構造)を実施した。  
 施設費において、公園区域内のNHK佐賀放送局の解体工事(下部構造)及びR5年度に引き続き東堀復元として、造成、園路、広場の整備を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



【① 造成、園路、広場整備】



【② 造成、園路、広場整備】

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和4年度～令和13年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容	この鯨の門は、天保6年(1835)から始まる本丸再建に際し、本丸の門として天保9年(1838)に完成した。昭和36年から昭和38年にかけて大規模な保存修理工事を行ったが、経年劣化により、門扉を中心に小修理が必要となったため保存修理を行う。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●令和6年度：修繕工法等の検討・情報収集

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化庁との協議で石垣の耐震診断の必要性が指摘され、令和5年度に石垣の耐震診断指針案が文化庁から示された。また、令和6年度に消防設備の不具合が見つかり、現在の文化庁の防災設備基準に合わせた改修が必要となるため、引き続き情報収集も行いながら石垣の耐震診断及び修繕工法等の検討を進め、それらを踏まえた鯨の門の保存修理の検討を行う。

状況を示す写真や資料等

【重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」】



【西面から】



【東面から】

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
松原公園整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成30年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容  
 松原公園の整備は、これまでに全体計画区域を定めた上で、国宝を含む佐賀藩鍋島家伝来の歴史資料を所蔵・展示する徴古館周辺を第一期区域として借地公園の手法により整備し、公園の開設を行った。  
 今後も、整備可能な区域から順次公園区域を拡大し、整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成30年度、令和元年度、令和2年度：関係者協議
- 令和3年度：松原公園周辺における歴史と文化を活かしたまちづくり懇話会を設置  
令和3年8月6日(金)、令和4年3月29日(火)に懇話会を開催した。
- 令和4年度：令和4年8月18日(木)、令和5年1月27日(金)、令和5年3月27日(月)に懇話会を開催した。
- 令和5年度：松原公園整備基本構想策定会議を設置し、令和5年11月30日(木)に会議を開催した。
- 令和6年度：令和7年3月基本構想策定(策定会議4回、ワークショップ・アンケート調査実施)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和9年に徴古館が開館100年、令和13年に佐嘉神社が創建100年を迎える。それぞれが記念事業を検討しているため、そのスケジュールと整合を取っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



【松原公園第一期整備エリアの現況(南から)】



【第3回基本構想策定会議\_令和6年7月29日】



【基本構想策定範囲】



【構想を元に作成した模型】

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
旧馬場家住宅保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 旧馬場家住宅は、18世紀末から19世紀初頭の建築とされ、佐賀藩の藩医を務めた漢方医の高宗弘堂が居住し、この家で開業したと伝えられる。表構えは土蔵造で、他の町家とさして変わらないが、間取りは武家屋敷に近いものとなっている。表の腕木門も同時期のものであると考えられ、江戸期建築の貴重な歴史的建造物である。  
 平成31年(2019)に所有者から本市へ寄附されたこの旧馬場家住宅の、保存修理及び公開活用のための改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和4年度：一部漆喰壁の応急的修理、下屋の解体工事
- 令和5年度：建物の業況調査
- 令和6年度：一部漆喰壁の応急的修理

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

旧馬場家住宅が建つ柳町では、佐賀市歴史民俗館7館の活用を含めた全体的なブランディングを検討中である。馬場家住宅もその中で修理・活用策の検討を行っていく必要がある。

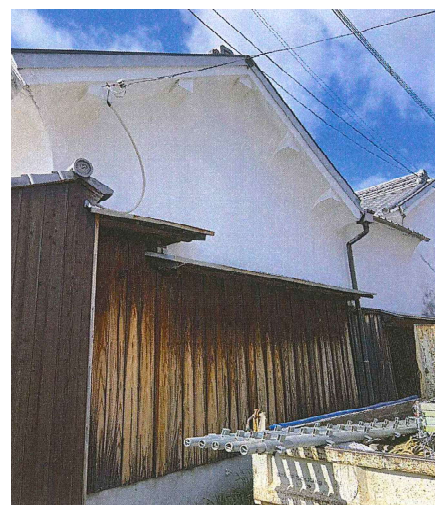
状況を示す写真や資料等



【全景】



【修理前】



【修理後】

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
山口亮一旧宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容  
 明治期の佐賀を代表する洋画家として知られる山口亮一画伯の居宅で、城下西側の武家地に位置している。主屋は、白石の須古の医師であった山口家が江戸時代(天保期)に移築されたものと伝えられている。明治期及び戦後に大幅な改築が行われているが、武家屋敷が少ない佐賀城下のなかで、往時の雰囲気を残す建造物として価値が高い。平成4年(1992)に本市に寄附されたのち、平成18年(2006)から、展示会、講演会、趣味の講座等の会場として活用してきたが、老朽化が著しいことから、保存・活用のための修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和4年度：現況調査、簡易耐震診断
- 令和5年度：精密耐震診断の実施  
耐震改修の方法、保存活用計画の方向性を検討
- 令和6年度：改修にむけての準備(令和7年度 設計、令和8年度～耐震・改修工事、令和9年度～活用開始)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 令和6年度で、平成18年から当建造物の活用をこなっていたNPO法人の運営が終了した。次の活用者が決定後、歴史的建造物の改修・活用を行っていく。

状況を示す写真や資料等



【外観(北西面)】



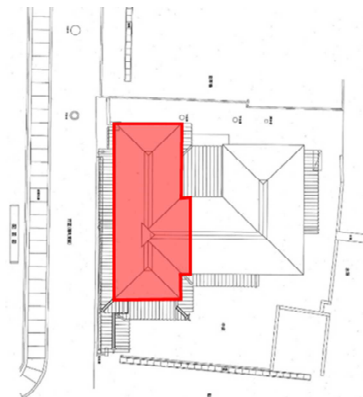
【外観(南面)】



【内観】



【小屋組みの損傷】



【茅葺屋根の葺き替え場所】

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
武家屋敷の門(中の小路)保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 武家地のなかでも上級武士の屋敷地が立ち並んでいた中の小路に、唯一現存する武家屋敷の門である。構造形式は極めて質素であるが、佐賀城下の上級武士の武家屋敷遺構が少ない中、往時の雰囲気を残す門として価値が高い。昭和46年(1971)に市の重要文化財に指定されて以降、小規模な修理を積み重ねながら維持してきたが、屋根瓦のずれが大きくなり、全体的に老朽化が著しくなったことから、大規模な保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●令和6年度:所有者(管理者)との協議、保存修理方法の検討

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者等による武家屋敷の門周辺の利用状況が変化しており、また、所在地及び周辺地・建物等の所有者変更の可能性も生じていることから、引き続きこれら状況の変化に応じて調整を図りながら、文化財の再調査も含めた保存修理の具体的な方法を検討する。

状況を示す写真や資料等

【重要文化財「武家屋敷の門(中の小路)」】



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
史跡「三重津海軍所跡」保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和8年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 史跡範囲の大部分は、地下の遺構の保全を図った上で、「佐野記念公園」として整備されている。現在、仮整備として遺構の一部の平面表示を行っている。来訪者に史跡三重津海軍所跡への理解をより一層深めてもらうため、遺構の平面表示などの史跡整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

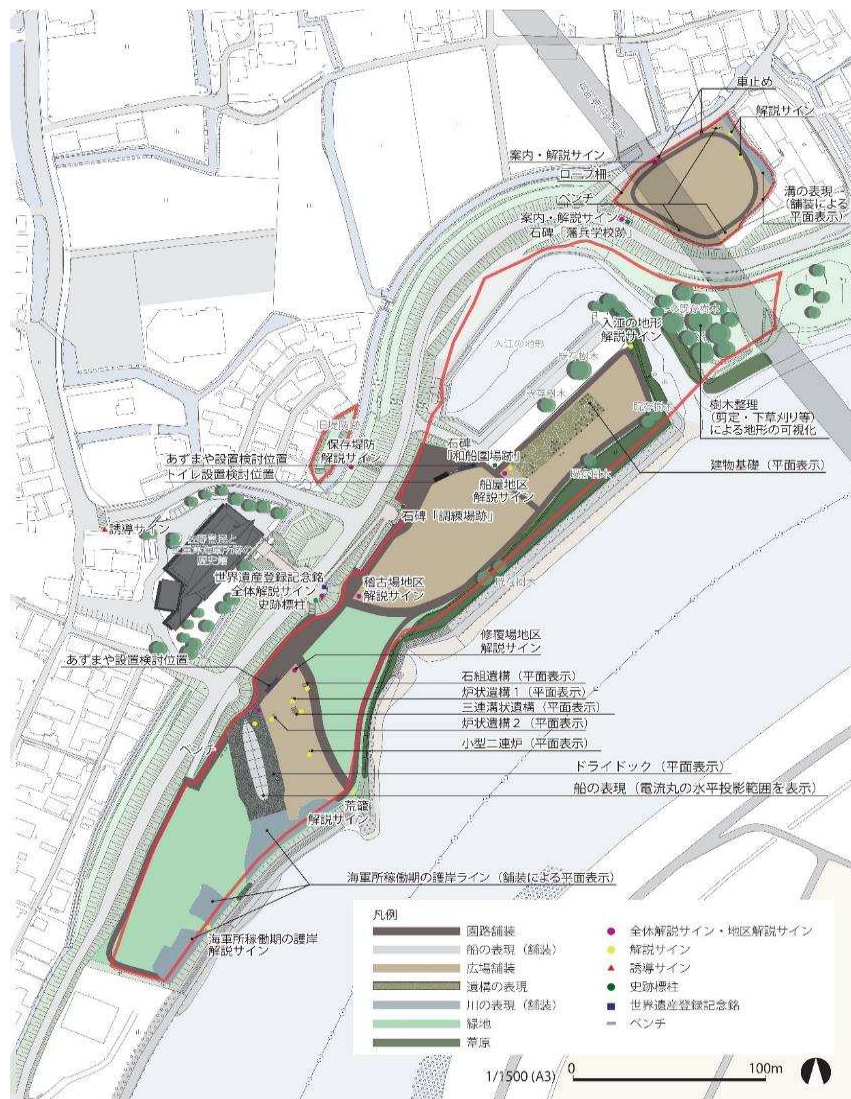
令和6年度：河川法・文化財保護法等の諸手続きを行い、三重津海軍所跡の現地整備工事に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

史跡三重津海軍所跡 全体平面図（整備計画案）



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成24年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	重点区域内に点在する伝統家屋や寺社建築などの歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、修理に対する助成を行う。
-------------	--

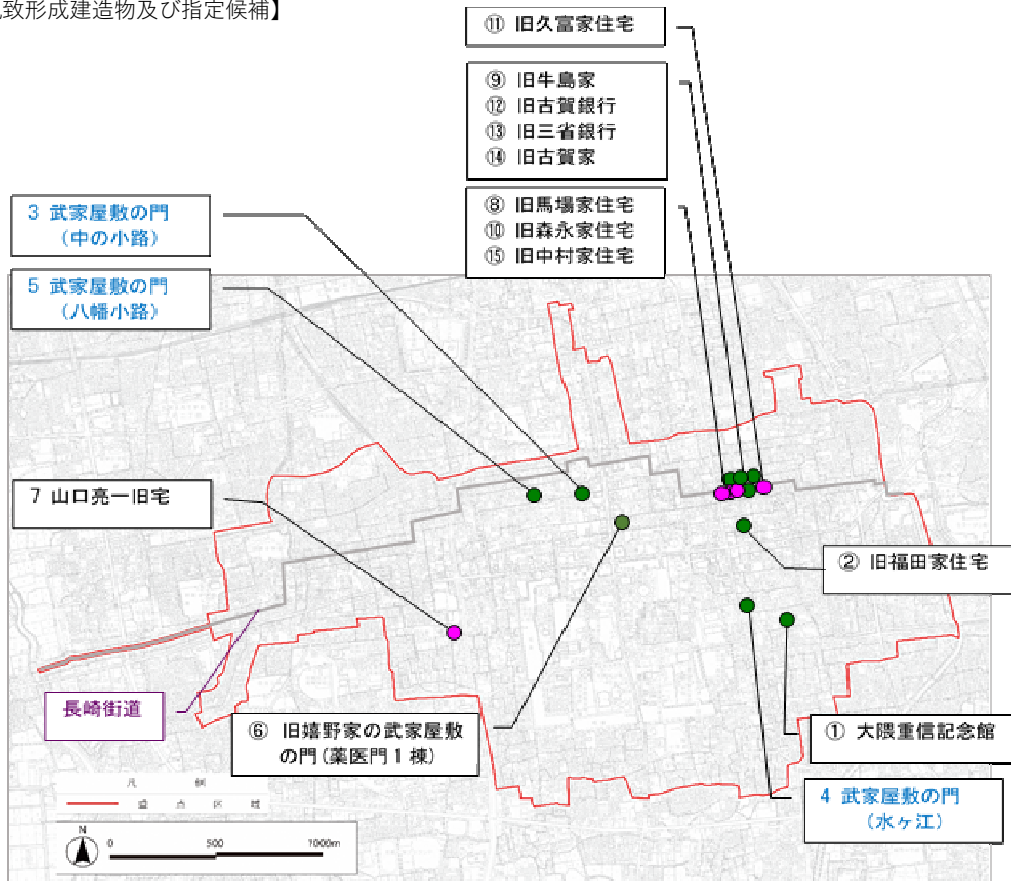
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和5年度:  
○歴史的風致形成建造物指定: 0件(指定候補15件のうち12件は指定済)
- 令和6年度:実績なし

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	指定した物件はすべて市所有の物件であり、今後必要に応じて追加指定、保存修理を検討していく。

状況を示す写真や資料等

【歴史的風致形成建造物及び指定候補】



歴史的風致形成建造物及び指定候補  
(青字は指定候補)

- 市指定文化財  
及び登録有形文化財
- 文化財未指定の歴史的建造物

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
まちづくりファンド活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和13年度		
支援事業名	佐賀市ふるさとづくり基金		
計画に記載している内容	佐賀市ふるさとづくり基金を活用し、次の事業を実施する。 ① 市民主導のまちなか「通り」導線づくり事業 ② 中央大通り沿線賑わい空間創出事業 ③ 歴史的建造物等活用事業		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度採択事業 2件 ●株式会社B・B・B ・本市が定める中央大通りトータルデザインに即した建物に改修し、良好な景観形成に寄与した。 ●有限会社大 ・松原川(水路)を活かした空間づくり等を行い、良好な景観形成に寄与した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●株式会社B・B・B 【着工前】  【工事完了後】 			
●有限会社大 【着工前】  【工事完了後の写真①】 			
【工事完了後の写真②】  【工事完了後の写真③】 			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
案内・説明看板及び誘導看板整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和13年度

支援事業名 重点区域内：社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)  
重点区域外：市単独事業

計画に記載している内容 案内・説明看板や誘導看板に関して、統一感あるデザインを作成し設置を行う。  
重点区域外において、合併前の各市町村それぞれのデザインで設置されてきた案内・説明看板や誘導看板についても、同じデザインの看板の設置を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和4年度：既存説明看板3基の修繕
- 令和5年度：既存説明看板7基の修繕  
新規看板等の設置(義祭同盟、佐野孺仙屋敷跡)
- 令和6年度：実績なし

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
平成27年度から設置し始めたサインの劣化(表示面の退色や剥がれ)が生じ始めているため、計画的な補修が必要である。

状況を示す写真や資料等

【劣化の状況】



(平成30年度設置)



(令和元年度設置)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
三重津海軍所跡周遊ルート環境整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「明治日本の産業革命遺産」の構成資産のひとつである三重津海軍所跡やガイダンス施設である「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」への誘導を円滑かつ安全に行くとともに、周辺に点在する歴史的資産や街なみを快適に散策できるように、周遊ルートの環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度：実績なし  
 令和5年度：実績なし  
 令和6年度：令和7年度からの設計等準備(バス乗降場及びポケットパーク整備)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

令和5年3月20日、史跡「三重津海軍所跡」の追加指定が行われた。今後の屋外整備を考慮しながら周遊ルート環境整備を行っていく。

状況を示す写真や資料等

【バス乗降場及びポケットパーク整備】  
 (令和7年度～8年度実施予定)



景観に配慮した防護柵  
 (イメージ)



誘導カラー舗装  
 (イメージ)



誘導看板  
 (イメージ)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
長崎街道再整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和13年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 曲がり角が多い長崎街道は道筋がわかりにくい上に、新たな都市計画道路や開発で分断されている部分もある。このため、長崎街道沿線に残る歴史的建造物や赤石護岸、棚路を探訪しながら、気軽に長崎街道を歩けるように、長崎街道の道筋を明確化する舗装の高質化事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成26年度：測量設計(委託)実施、整備計画策定
- 平成27年度：整備延長 L=750m
- 平成28年度：整備延長 L=455m
- 平成29年度：整備延長 L=600m
- 平成30年度：整備延長 L=420m
- 令和元年度：整備延長 L=562m
- 令和2年度：整備延長 L=310m
- 令和3年度：整備延長 L=81m
- 令和4年度：事業実績なし
- 令和5年度：事業実績なし
- 令和6年度：事業実績なし

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

他の道路整備事業との調整を図りながら進めていく。

状況を示す写真や資料等

【位置図】



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
新馬場通り(松原神社参道)整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和13年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松原神社参道は、かつては木・銅・石の鳥居及び両脇参道に灯笼などが立ち並び、沿線には旅館などが建ち賑わっていたが、現在は石の鳥居が唯一残っている状態である。  
 現在、市民団体による参道の復活を目指したまちづくりが進められており、この運動と連携した松原神社参道(市道)の高質化事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成29年度：新馬場通りデザインルール策定
- 平成30年度～令和元年度：関係者協議
- 令和2年度：関係者協議、測量・設計委託業務
- 令和3年度：隣接地権者との道路整備方針決定、試掘調査、工事準備、着工
- 令和4年度：掘削作業中に木柱、赤石等が発掘され、文化財課による調査のため工事休止中。
- 令和5年度：高質化工事実施
- 令和6年度：高質化工事実施

進捗状況 ※計画年次との対応

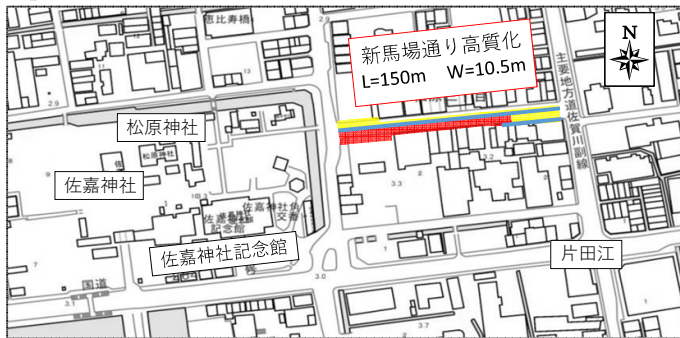
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

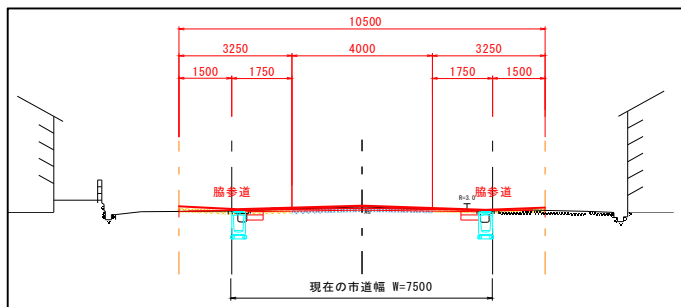
【位置図】

【整備箇所:松原三丁目】



- R5整備箇所
- R6整備箇所
- R7以降整備箇所

【計画横断面図】



【大正時代頃の参道(東から)】



【現在の新馬場通り(東から)】

評価軸③-14  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
佐賀市歴史民俗館周遊ルート及び駐車場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 来訪者のための2箇所の駐車場の再整備と佐賀市歴史民俗館を結ぶ周遊ルートの舗装の高質化事業及び水路護岸の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

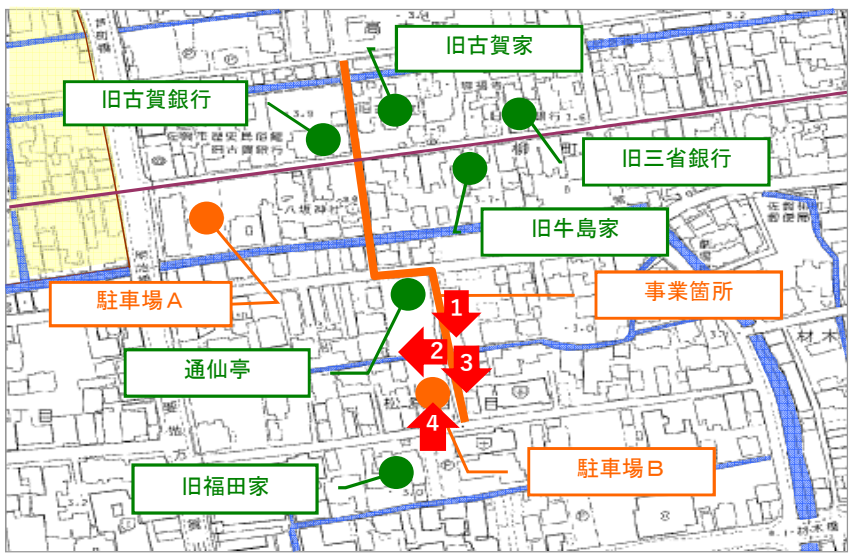
- 令和2年度、令和3年度:関係者協議
- 令和4年度:護岸築造測量設計
- 令和5年度:護岸改修工事
- 令和6年度:関係者協議

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 今後、柳町全体のブランディングを実施していくなかで、整備の方向性等を関係者と協議を行っていく。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



1. 連絡通路  
奥は駐車場 B



2. 水路護岸の整備【施工済】



3. 連絡通路



4. 駐車場 B

評価軸③-15 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
緑化推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和13年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)助成制度 市単独事業		
計画に記載している内容	平成20年度に施行した「佐賀のみどりあふれるまちづくり条例」に基づき、公共施設の緑化推進や自治会などが公共的な場所で行う地域環境緑化活動への支援、民有地の緑化に対する支援などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●みどり重点地区内の事業 ・緑化啓発活動：7件 ・自治会やボランティア等が行う地域環境緑化活動への支援：20団体(花苗、多年草苗 24,029苗)			
進捗状況 ※計画年度との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【花づくりボランティア活動 (中央大通り)】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【パークメイト (市役所前公園)】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【花とみどりのまちづくりリーダー緑化活動 (さが維新広場)】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【みどりめで隊の活動 (佐賀市役所庁舎玄関)】</p> </div> </div>			

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
幕末佐賀藩近代化産業遺産の保全及び活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和13年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 佐賀藩が他藩に先駆けて近代化に取り組んだことを示す資産群(「幕末佐賀藩近代化産業遺産」)について、適切な保全を行いながらさらなる調査を進め、佐賀藩の果たした功績を広く市民及び来訪者に周知するとともに、次世代に継承していくための取組を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●令和6年度:精煉方跡「精煉方略図」(公益財団法人鍋島報効会所蔵)に記載されている「鍛冶所」の一部について発掘調査を実施。多布施反射炉跡 民間企業の社屋改築計画に伴い、反射炉本体の東側(西側は平成21年度確認調査)及び社屋周辺の確認調査を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【精煉方跡発掘調査】



鍛冶所部分の発掘調査地全景(南東から)



鍛冶所部分の調査区近景(南から)

【多布施反射炉跡発掘調査】



第1トレンチ(南から)



第2トレンチ(北から)

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
項目			現在の状況
案内・説明看板及び誘導看板データ化事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和4年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容  
 本市に点在する指定文化財や歴史資産の案内・説明看板、誘導看板を統一感のあるデザインにより作成し、これまでに98基の設置を行ってきた。これらの位置や記載内容をデータ化し公開する。その際には、看板サイズの関係から板面への掲載を見送った内容や写真等を新たに追加し、内容を充実させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度：  
 佐賀県が再整備した、佐賀の歴史を学べる学習コンテンツ上に、佐賀市が平成27年度から令和2年度にかけて設置した98基の看板のうち、誘導看板を除く73基の案内・説明看板のデータを掲載した。  
 令和5年度：実績なし  
 令和6年度：実績なし

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	上述の学習用コンテンツ上に看板の情報を掲載したことに留まっているため、新たに設置した案内板の情報を追加するとともに、市ホームページにリンクを貼り、広く利用してもらえるよう努めていく。

状況を示す写真や資料等



【コンテンツ画面】

評価軸③-18  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
徴古館を活かしたまちづくり推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	(公財)鍋島報効会と佐賀市との間で締結した「徴古館を活かしたまちづくり基本協定」(平成20年10月3日締結)及び「まちづくりに関する基本協定」(平成31年3月8日締結)に基づき、徴古館が有する鍋島家伝来の歴史資料を活用したまちづくりを進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
鍋島家伝来の歴史資料や美術工芸品を所蔵する公益財団法人鍋島報効会が運営する徴古館(登録博物館)で、収蔵品の展示及びそれに関連した各種イベントを開催した。また、令和6年度は、将来的に常設展示の実施を視野に入れて、通常展として、展示品の入れ替えを行いながら、試験的に5カ月間連続の展示を行った。例年は展示替えに伴う長期休館が多かったため、当年度は観光客の来館が増加した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●展覧会(徴古館)

○徴古館 通常展

令和6年7月6日(土)～11月24日(日) 入館者数 1,467人

○鍋島家の雛祭り：令和7年2月8日(土)～3月9日(日) 入館者数 5,874人

## 7月6日<sup>2024</sup> 日(土) - 11月24日 日(日) 徴古館 通常展示

開館時間 9時30分～16時(最終入館15:40) 入館料300円(中学生以下無料)  
月曜休館(祝日の場合は翌平日) ※会期中に展示品の入れ替えを行います。

江戸時代の約260年にわたり佐賀藩を治め続けた鍋島家。幕末には10代藩主鍋島直正公のもと財政再建や殖産興業、西洋科学技術の積極的な導入が行われ、佐賀藩は一躍雄藩となりました。そして11代直大公の時代に明治維新を迎え、侯爵を授かり、皇室の藩屏となりました。徴古館では、鍋島家に伝わった様々な時代・分野の歴史資料や美術工芸品を鍋島家の歴史とともにご紹介します。

**佐賀藩内 重臣家の旗指物の図**  
※7月6日～9月1日公開  
※期間中、複製型紙を貸出しながら公開

**11代夫人 鍋島栄子様のドレス**  
※会期中に展示品を入れ替え、様々な衣装をご紹介します  
※複製型紙を貸出しながら公開  
9月18日～10月20日公開

**縁結技巧! 象牙製の置物**  
※会期中に展示品を入れ替えます  
※象牙の置物は 9月3日～9月29日公開

**佐賀藩が誇る 鍋島焼**

**藩主所用の刀**  
※会期中に展示品を入れ替えます  
7代直正公の御筆 銘「海嶺 鳴川」住居位 重長七年八月 以 7月30日～9月1日公開

**10代藩主 鍋島直正公が 愛娘に宛てた手紙**  
※191点のうち数点ずつ展示

**御慶事の記念品 ポンボンニエール**  
※146点のうち約30点ずつ展示

**通常展 開館スケジュール** 本展は以下の日程で開催いたします(色付きの日が開館日です)

7 July	8 August	9 September	10 October	11 November
1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

10月28日は徴古館創設記念日のため無料観覧



公益財団法人 鍋島報効会  
〒840-0831 佐賀市松原2丁目5-22  
☎ 0952-23-4200  
✉ info@nabeshima.or.jp



HP



SNS

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
地域文化保存・継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域資源を次期世代に引き継ぐため、地域資源を維持・保全及び継承するための地域活動又は地域資源を活かした地域活性化の活動を行う団体に対し財政的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(令和6年度採択事業/概要)

- 伝統芸能等に係る衣装ほかの修繕等事業：0件
- 地域の自主的な活動(地域資源の保存継承)事業：4件(申請6件)
  - 松森神社・籠り堂の天井取り付け及び軒下天井の改修事業/籠り堂は天井がないため、茅葺きの屋根が劣化し、少しずつ室内に落下し危険である。また、軒下天井も劣化しているため張替えを行った。
  - 高柳自治会における「若宮社」補強工事業/現在、社は、建築70年以上と推定され、特に土台部分の老朽化が進んでおり、安全対策として、礎石の周りを固定・柱間の抜き板の取替え・横板の取付により強度を高める工事を行った。
  - 久保田町・永里稲荷神社鳥居・のぼり掲揚柱更新事業/神社には鳥居が6基あり、そのうちの2基とのぼりの掲揚柱が腐食し老朽化して危険を伴っている為、鳥居(2基)とのぼり竿(2本)の建替え工事を行った。
  - 葉隠関係史跡の地域文化遺産を保存・継承しつつ啓発する事業/松梅地区にある湛然和尚のゆかりの史跡3ヶ所(腹切り地藏、通天寺、華蔵庵)の入口に、案内看板の設置と、湛然の里に総合案内としての散策コース案内地図設置等のための制作を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

令和6年度は応募が多く、不採択となった団体もあったため、申請の際には不採択となる場合もある旨の周知徹底を今後もおこなっていく。

状況を示す写真や資料等

【永里稲荷神社鳥居・のぼり掲揚柱更新事業】



【葉隠関係史跡の地域文化遺産を保存・継承しつつ啓発する事業】



評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
佐賀市指定文化財維持管理謝礼金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成20年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	佐賀市指定文化財を維持及び管理する個人・団体に対し、謝礼を行う。

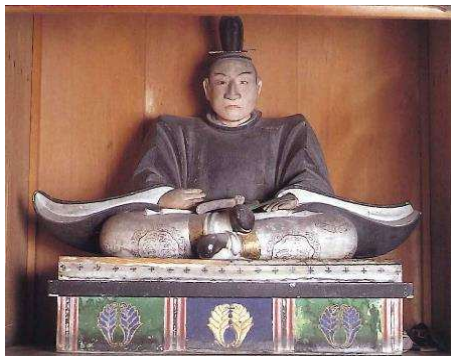
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●佐賀市指定文化財維持管理謝礼金 89件  
 (目的)  
 市指定文化財の適正な維持管理を行っている所有者(又は管理者)に対し謝礼金を支払うことにより、所有者等としての自覚並びに文化財愛護の意識高揚を図る。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

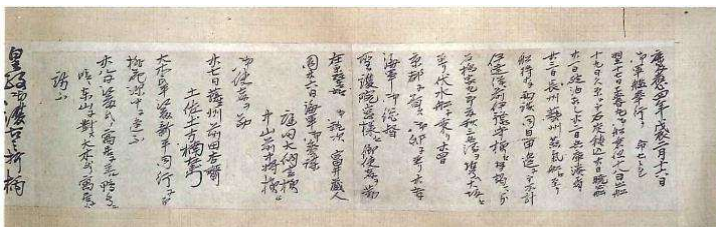
- 令和6年度 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金一覧
  - 佐賀市指定重要文化財の管理者：58件  
 絵画 4件、建造物 12件、工芸品 12件、古文書 3件、書跡 3件、彫刻 14件、美術工芸 3件、歴史資料 6件、石造物 1件
  - 佐賀市指定重要有形民俗文化財の管理者：8件
  - 佐賀市指定史跡の管理者：12件
  - 佐賀市指定天然記念物の管理者：11件



木造鍋島直坐像 (1 軀)  
 市重要文化財 (彫刻)  
 所有者等 高伝寺



大涅槃像  
 市重要文化財 (絵画)  
 所有者等 高伝寺



島義勇の旅日記 (1 巻)  
 市重要文化財 (書跡)  
 所有者等 個人



大小野の石楠花 (1 株)  
 市天然記念物  
 所有者等 個人

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
指定文化財管理台帳等作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市には、国・県・市の指定文化財が合わせて226件(令和3年(2021)10月31日現在)あるが、それらの文化財に関する詳細な情報や、指定に至る経緯等を記した資料については、個別の紙媒体しか存在しない。そこで、これらの情報を一元化し記録検索が行える管理台帳及び要覧を作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●文化財課及び各支所に保管されていた指定文化財関連資料等の収集・整理			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各資料の作成当時の年代や作成した合併前町村等によって異なる様式等で保存されている指定文化財の関連資料について、検索等が行い易い管理台帳に一元的に集約できるように引き続き整理及び関連資料の確認等を行う。		
状況を示す写真や資料等			
<p>【収集・整理中の国、県及び市指定文化財関係紙媒体資料】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	国・県・市指定無形民俗文化財の保存団体などに対し、同団体などが実施する無形民俗文化財を継承していく取り組みを支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金 12無形民俗文化財 13団体  
 国・県・市指定の無形民俗文化財の継承を支援することを目的とし、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、無形民俗文化財の保存会等が実施する活動(行事の運営等の活動に係る経費、継承等につながる活動に係る経費)に対し、補助金を交付する。
- 指定無形民俗文化財保存会代表者会の開催 12無形民俗文化財 13団体  
 指定無形民俗文化財保存会の代表者が集まり、事例発表や情報交換を行うことにより、団体間の連帯感を強め、今後の無形民俗文化財の保存継承につなげる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度以降コロナ禍により行事の実施が困難な状況となっており、そのような中でも各地域で無形民俗文化財を地域固有の文化として引き続き継承していけるよう、行政と保存会等が協力しながら支援を実施していかなければならない。
--	--

状況を示す写真や資料等

■佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金 申請対象保存会一覧

(担い手不足により規模縮小あり)

	名称	文化財指定	所在地	奉納場所	保存会等名称
1	白鬚神社の田楽	国指定	久保泉町川久保	白鬚、勝宿神社	「白鬚神社の田楽」保存会
2	見島のカセドリ	国指定	蓮池町見島	熊野神社	加勢鳥保存会
3	浮立玄蕃一流	市指定	神野町西神野	掘江神社	東神野天衝舞浮立保存会
					西神野玄蕃一流浮立保存会
					草場浮立会
4	高木八幡ねじり浮立	市指定	高木瀬町東高木	高木八幡宮	高木八幡ねじり浮立保存会
5	小松の浮立	市指定	蓮池町小松	小松神社	小松浮立保存会
6	三重の獅子舞	県指定	諸富町為重	新北神社	諸富町無形文化財保存会
7	太田の浮立	市指定	諸富町太田	太田神社	
8	市川の天衝舞浮立	県指定	富士町市川	諏訪神社	市川天衝舞浮立保存会
9	海童神社奉納浮立	市指定	川副町犬井道	海童神社	海童神社奉納浮立保存会
10	松枝神社奉納浮立	市指定	川副町大詫間	松枝神社	松枝神社奉納浮立保存会
11	東与賀銭太鼓	市指定	東与賀町	不定	東与賀銭太鼓を育てる会
12	快万浮立	市指定	久保田町快万	香椎神社	快万浮立保存会

■指定無形民俗文化財保存会代表者会議(令和6年4月22日開催) 12無形民俗文化財、12団体

- ・行政や民間の助成金及び補助金の説明
- ・各団体の課題・問題点などの意見交換

## 評価軸③-23

## 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
佐賀市文化財総合活用推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和6年度		
支援事業名	文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)		
計画に記載している内容	本市の国・県・市指定無形民俗文化財の代表者等で構成される、佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会が実施する無形民俗文化財の映像記録作成等に対し、引き続き財政的支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>●文化財総合活用推進事業 1件(松枝神社奉納浮立)            指定無形民俗文化財の保存会の代表者で構成される佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会が、文化庁及び市からの補助を受けて無形民俗文化財の映像記録を作成し、各保存会の活動等において活用を図る。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		近年のコロナ禍により当初予定していた映像記録作成が実施できず、まだ5団体(行事)の映像記録作成ができていない。文化庁補助事業が令和7年度も継続されることとなったため、これを活用して令和7年度に2団体の記録作成を実施予定であるが、残る未作成団体についても、事業期間の延長や今後の財源をはじめ、作成時期、方法等を検討する。	
状況を示す写真や資料等			
<p>■実行委員会の開催 (令和6年4月22日開催) 12無形民俗文化財、12団体            ・令和6年度映像記録作成文化財(保存団体)の決定</p> <p>■文化財総合活用推進事業            ・令和6年度映像記録作成文化財            実施 1件:松枝神社奉納浮立</p>			
【作成した映像記録DVD】			
			
<p>■無形民俗文化財資料のデータ化            今後の行事実施見込が立っていない1行事(小松の浮立)について、保存会で保存されている文献や資料、音声データ等のデータ化を市において実施し、当該行事の保存・継承の一助とした。</p>			

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の調査・指定、保存管理計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	●未指定の文化財については、文化財としての価値調査を行い、その結果に基づき指定・登録を行うとともに、その保存と活用に努める。 ●個々の文化財の状況を確認しながら、保存活用計画の策定に向けて検討を進めていく。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
●文化財調査 ○市域全体 確認調査115件 本調査2件 ○うち歴まち計画重点区域 確認調査10件 立会調査2件 本調査0件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●歴まち計画重点区域内確認調査状況 【周知の埋蔵文化財包蔵地外（新馬場通り）】			
			
			
参道関連石組遺構検出状況（西から）		参道関連石組遺構検出状況（北から）	

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の修理(整備)、防災に関する事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

- 指定文化財の保存修理にあたっては、佐賀市以外の所有の場合は、所有者などとの連携を図りながら適切な保存修理を行い、また、市所有の指定文化財については計画的な保存修理を行う。
- 既指定文化財建造物のうち、消防施設が老朽化しているものや型式が適合しないものについては、速やかに消防設備の設置を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の修理
  - 佐賀市重要文化財(建造物) 香椎神社肥前鳥居の笠石部分の修繕
- 防災関係の取り組み
  - 文化財防火訓練
    - ・令和7年1月19日(日) 吉村家住宅(重要文化財)
    - ・令和7年1月26日(日) 神野のお茶屋(佐賀市重要文化財)
- 防犯対策の取り組み
  - 重要文化財である佐賀城鯨の門及び続櫓や、市指定の文化財を収蔵している肥前国庁跡資料館、文化財資料館について、警備委託を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 文化財の修理
  - 佐賀市重要文化財 香椎神社肥前鳥居の笠石部分の修繕



(鳥居裏から)



(鳥居正面から)

- 文化財防火訓練

- 神野のお茶屋(佐賀市重要文化財)



- 吉村家住宅(重要文化財)



	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取り組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 ●文化財に関する普及啓発の取り組み  
 まちづくりの市民団体と連携し、歴史資産についての正確な情報提供を積極的に行って、市民や来訪者に本市の魅力  
 を伝えることが重要である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 主な普及啓発事業  
 ○歴史、文化をテーマとしたイベントや講演会、講座の開催

進捗状況 ※計画年度次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- 歴史・文化施設 令和6年度来場者数  
 ○徴古館：7,341人(通常展(1回)、「鍋島家の雛祭り」、その他イベント)  
 ○大隈重信記念館：10,352人(企画展「広岡浅子と大隈重信」、「大隈重信と江藤新平」、その他イベント)  
 ○佐賀市歴史民俗館：191,165人(佐賀城下ひなまつり、県維新博メモリアル展示「葉隠」、公募イベント)  
 ○佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館：17,700人  
 (開館20周年記念企画展「はこぶ〜筑後川、早津江川の水運〜」、その他イベント)  
 ■その他、シンポジウム・講座・イベント等(広報手段：市HP、市広報誌、記者投込、情報誌、SNS他)

No.	事業名	開催日	参加人数	事業内容
1	東名遺跡出前授業 (小学校)	5月21日～7月3日 (28日間)	24校 1,646名	小学6年生を対象に、東名遺跡からの出土遺物を実際に見たり触れたりすることで興味を持たせ縄文人の食生活や高度な技術力を体感させる授業を行った。
2	世界遺産登録記念日パネル展 (佐賀市役所市民ホール、佐野・三重津歴史館)	7月5日～7月26日	867人	世界遺産や三重津海軍所跡についての周知及び現地への来訪促進のため、世界遺産登録記念日に合わせて、佐賀市役所市民ホール及び佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館でパネル展を行った。
3	JR九州デジタルスタンプラリー	7月6日～12月20日	486人	JR九州アプリを用いて、九州内の「明治日本の産業革命遺産」構成資産を巡るデジタルスタンプラリーを行った。
4	肥前国庁跡を活用した授業 (肥前国庁資料館)	7月10日・1月17日・3月 10日(3校)	355名	市内の小学校3年生と6年生に対し、国庁見学の説明と出前授業を行った。
5	東名遺跡体験学習 (貝輪づくり)	7月20日	60名	現生のベンケイガイを材料に、縄文時代と同じ道具(石と鹿角)を使って貝輪をつくる体験学習を行った。
6	東名遺跡体験イベント (東名遺跡縄文館・金立町はぐくれの里祭り)	7月20日・11月4日	約190名	東名遺跡の整備に向けて、東名遺跡を知ってもらうため「貝アクセサリーづくり」「火起こし体験」「勾玉づくり」「土笛づくり」「縄文射的」などの体験イベントを開催した。
7	世界遺産検定講座 (佐野・三重津歴史館)	7月20日～11月16日	96人	世界遺産検定3級相当の講座を開催。
8	肥前国庁跡体験学習 (ハンコづくり)	8月16日～8月17日	19名	古代のハンコや国庁について学習し、発泡スチロールを使ったハンコづくりの体験学習を行った。
9	久留米高等夏休みワークショップ (佐野・三重津歴史館)	8月17日、25日	110人	夏休みの子ども向けに久留米高等ロボコン部によるワークショップ、レジン工作のワークショップを行った。
10	東名遺跡企画展 (東名縄文館・市立図書館・ 吉野々里展示室)	8月17日～1月19日 (134日間)	34,006名	『縄文のものづくり-縄文人の自然素材利用-』と題し、東名遺跡から出土した日本最古級の出土遺物を中心に展示公開し、自然素材を巧みに利用した縄文時代のものづくりの実態について紹介した。
11	おもしろ縄文講座 (佐賀市立図書館)	8月24日・10月26日・ 11月24日 (3回開催)	87名	第1回は「何の動物の骨? -東名遺跡の動物を調べよう-」と題し、東名遺跡から出土した動物骨を現生標本と比較して、何の動物で、どの部分の骨かを特定するワークショップを行った。第2回は『星降る中部高地の縄文世界』と題し、黒曜石の産地である嵐山遺跡群(長野県)と縄文集落を復元した榊之木遺跡(山梨県)の調査成果や価値、保存・整備・活用への取り組みや課題を紹介していただいた。第3回は「考古イラスト教室 -縄文の世界を描こう!!-」と題し、東名遺跡の復元編みかごをモデルに、水性ペンとクレパスでイラストを作成した。事前にパワーポイントを使って、イラストを中心に東名遺跡の解説を行った。
12	古文書講座会 (佐賀市立図書館)	10月1日～2月13日 (5回開催)	47名	「古文書を読んでみよう」と題し、第1回～第3回は、諫早市立諫早図書館蔵「諫早家文書」の日記類をもとに、第4回・第5回は、佐賀県立図書館蔵の蓮池鍋島藩の藩政資料である「諫役所日記」をもとに、幕末産業遺産に関する事柄の書かれた部分を抜粋して講座を開催した。
13	国スポおもてなし会場のPR活動	10月8日～10日	900人	三池エリアの自治体(大牟田市・荒尾市・宇城市)と連携し、SAGA2024国スポ・全障スポのおもてなし会場(佐賀市文化会館)にてグッズ・チラシ配布等のPR活動を行った。
14	肥前国庁企画展 (肥前国庁資料館)	10月8日～3月2日	1,193名	肥前国庁跡資料館で開催した。企画展「摂関期の肥前国府」と題し、摂関期における肥前国府の調査成果や出土遺物、文献からみた当時の肥前国についての展示解説及び、NHK佐賀支局の協力を受けて大河ドラマ「光る君へ」関連のパネル展示を行った。
15	クリスマス美術展示 (佐野・三重津歴史館)	12月13日～25日	896人	佐賀の地元の芸術家5名による展覧会「猪島の海」を歴史館にて開催。あわせて「和風クリスマスリースづくり」のワークショップを行った。
16	マインクラフトワークショップ (佐野・三重津歴史館)	1月26日	70人	教育版マインクラフトによる子ども向けデジタルものづくりイベントを開催。
17	肥前国庁歴史講座 (肥前国庁資料館)	1月18日～2月8日 (2回開催)	67名	「摂関期の肥前国府」を題材に、講座を開催した。
18	東名遺跡体験学習 (編みかごづくり)	3月8日	37名	縄文人の知恵や技を体感するため、クラフトテープを用い、東名遺跡の編みかごに見られる網代編みを中心に、小型かごの作成を行った。

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度
		令和6年度
		掲載紙等
「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」開館20年でパネル展	令和6年10月16日	NHK佐賀放送局
「松原公園」整備へ素案	令和7年2月13日	読売新聞
多布施反射炉の配置「伝承通り」 佐賀市文化財保護審議会で調査結果報告	令和7年2月14日	佐賀新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

佐賀の歴史や文化に対する取り組みを市民等知ってもらうため、市ホームページや市政記者、他の媒体による積極的な広報に努めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

著作権関係で新聞記事掲載なし

評価軸⑥-1

その他(効果等)

	評価対象年度	令和6年度
--	--------	-------

項目
----

その他(効果等) 佐賀市民意向調査

計画に記載している内容 無形の文化財の祭事日程に関する広報、埋蔵文化財発掘調査の現地報告会や考古展の開催など、文化財に対する市民啓発活動を実施しているが、市民の文化財に対する意識は、まだ高いとはいえない状態である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 令和6年度
  - 施策「未来につなげる文化の振興」に対する現状の満足度：59.0% (全36施策中4位)【前年度調査比+1.6ポイント】
  - 日常の取り組み「歴史関連イベント等に参加・活動した割合」：12.2%【前年度調査比+0.2ポイント】

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

■佐賀市民意向調査

佐賀市総合計画において「政策展開の基本方向」を構成する36の施策を中心に質問を設定し、市民が「佐賀市の現状をどのように感じているか」、そして「これからの“まちづくり”についてどのような意見を持っているか」などを把握し、市民の声を市政に反映させることを目的として、毎年1回実施。

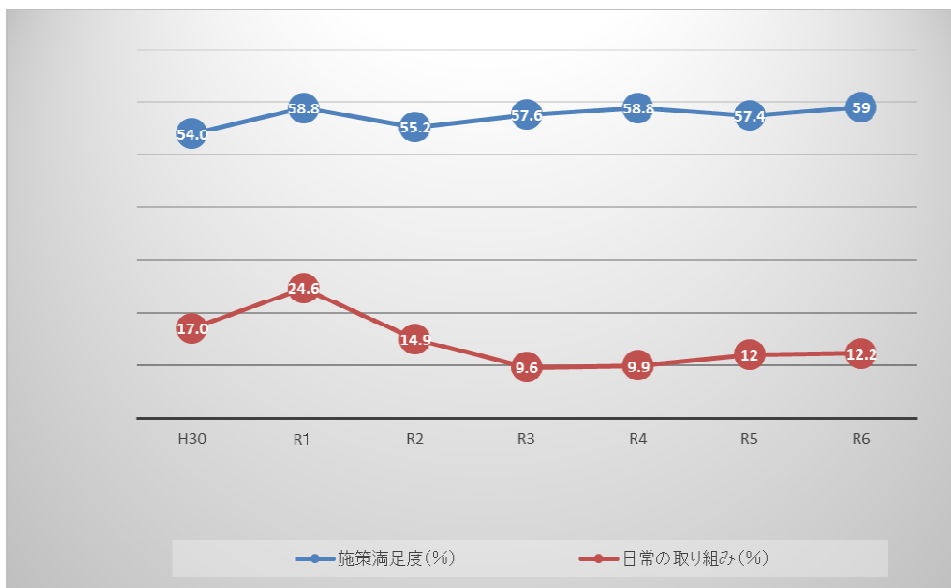
- 調査地域 佐賀市全域
- 調査対象 市内に居住する18歳以上の男女：5,000人(回収数1,299/回収率26%)
- 抽出方法 旧市町村ごとに住民基本台帳から年齢階層別に無作為抽出
- 調査方法 郵送による配布、郵送による回収
- 調査期間 令和6年5月20日～6月3日

●施策に対する現状の満足度：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合

- 施策名 未来につなげる文化の振興
- 成果目標 市民が子どもの頃から文化芸術や地域の歴史遺産に親しむ環境が整っており、市民自ら文化芸術活動や歴史遺産の保存・継承活動に取り組んでいる。

●日頃の生活における「取り組み」：「よく参加・活動した」と「ときどき参加・活動した」を合わせた割合

- 設問 過去1年間の間に、歴史関連のイベント等に参加したり、活動したりしましたか。



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称：佐賀市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時：令和7年5月14日	
(コメントの概要)	
(今後の対応方針)	